



2020年9月8日

各 位

上場会社名	五洋建設株式会社
代表者名	代表取締役社長 清水 琢三
コード番号	1893
上場取引所	東証・名証各一部
問い合わせ先	財務部長 遠藤 淳一 (TEL. 03-3817-7618)

## グリーンボンド（第5回無担保社債）発行に関するお知らせ

当社は、現在建造中のSEP型多目的起重機船（以下、SEP船）の建造代金を資金用途とするグリーンボンド（五洋建設グリーンボンド）を本年10月に発行（以下、本発行）予定であり、本日9月8日に、本発行に向け社債の訂正発行登録書を関東財務局長に提出いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 本発行の目的及び背景

当社グループは経営理念として、「社会との共感」、「豊かな環境の創造」、「進取の精神の実践」を掲げ、持続可能な社会の実現に向け、常にお客様や社会の課題に真摯に向き合い、事業活動を通じて環境価値を創出し続けるよう取り組んでおります。また、2020年5月に公表した中期経営計画において、臨海部と海外に強みを持つ“真のグローバル・ゼネラルコントラクター”を目指し、ESG重視のCSR経営の実践を主要な戦略のひとつに掲げ、環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）、それぞれの取り組みを推進しております。特に、環境に関する取り組みとしては、海洋土木の強みを生かし、洋上風力分野のトップランナーとして日本の洋上風力発電の普及・推進に貢献できるよう、本年4月、洋上風力事業本部を立ち上げ、取り組みを強化しております。2018年12月には、我が国初となる洋上風車据付用の800t吊大型クレーンを搭載したSEP型多目的起重機船「CP-8001」を建造しています。

今回のグリーンボンド発行を通じて調達した資金は、当社が鹿島建設および寄神建設と共同で建造する1,600t吊クレーンを搭載した2隻目のSEP船の建造代金に充当されます。本発行を通じて、日本の洋上風力発電の普及・推進への積極的な貢献をしていきたいと考えています。

今後も当社グループは、良質な社会インフラ・建築物の建設こそが最大の社会貢献と考えてCSR経営を実践し、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

## 2. 本発行の概要

名称	五洋建設株式会社第 5 回無担保社債（グリーンボンド）
発行総額	100 億円（予定）
発行年限	5 年（予定）
発行時期	本年 10 月頃（予定）
資金使途	SEP 船の建造代金に充当 100 億円（予定）
主幹事	みずほ証券株式会社、野村証券株式会社、 SMBC 日興証券株式会社
Green Bond Structuring Agent	みずほ証券株式会社

## 3. グリーンボンドとしての適格性について

当社は、グリーンボンド発行のために「CBI 気候変動債基準 v3.0、Marine Renewable Energy Sector Criteria<sup>1)</sup>」、「グリーンボンド原則 2018 年版<sup>2)</sup>」および「グリーンボンドガイドライン 2020 年版<sup>3)</sup>」に即したグリーンボンドフレームワークを策定しました。

グリーンボンドに対する第三者評価として、株式会社日本格付研究所（以下、JCR）より、「JCR グリーンボンド評価<sup>4)</sup>」において、当該フレームワークが「グリーンボンド原則 2018 年版」および「グリーンボンドガイドライン 2020 年版」に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しており、あわせて最上位評価である「Green 1」の予備評価を取得しております。また、本グリーンボンドは、CBI の認定検証機関である JCR を通じて、「CBI 気候変動債基準 v3.0、Marine Renewable Energy Sector Criteria」への適合性について検証を受け、CBI より認証を取得いたしました。なお、SEP 船の建造を資金使途とした CBI 認証は世界初となります。

また、本グリーンボンドに係る第三者評価の取得については、環境省の令和 2 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金の交付対象となっております。

1) 「CBI 気候変動債基準 v3.0、Marine Renewable Energy Sector Criteria」とは、低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO である、Climate Bonds Initiative（CBI）が整備する、気候変動債に関する基準

2) 「グリーンボンド原則」とは、国際資本市場協会（ICMA）が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会（Green Bond Principles Executive Committee）により策定されているグリーンボンドの発行に係るガイドライン

3) 「グリーンボンドガイドライン 2020 年版」とは、グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに関する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が 2020 年 3 月に改訂・公表したガイドライン

4) 「JCR グリーンボンド評価」とは、グリーンボンドの発行により調達される資金が JCR の定義するグリーンプロジェクトに充当される程度ならびに当該グリーンボンドの資金使途等にかかる管理、運営および透明性確保の取り組みの程度を評価したもの。評価は 5 段階で、上位のものから順に、Green1、Green2、Green3、Green4、Green5 の評価記号を用いて表示される

#### 4. 本グリーンプロジェクトの概要

名称	SEP 型多目的起重機船
投資額	185 億円（五洋建設分 約 120 億円）
完成時期	2022 年 9 月（稼働開始 2023 年 3 月）（予定）
設計・建造	基本設計：GustoMSC 社（オランダ） 建造：PaxOcean Engineering 社（シンガポール） 主クレーン：Huisman 社（オランダ）
稼働予定期間	12 年間
稼働予定場所	日本国内
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・船体をジャッキアップすることにより、気象・海象条件の厳しい海域でも、安全性、稼働率、精度の高いクレーン作業が可能。特に大水深（水深 50m）での作業が可能。1,600t 吊の全旋回式クレーンを搭載しており、10～12MW クラスの風車の設置、モノパイルやジャケット等の基礎の施工が可能</li><li>・広いデッキスペースと十分なジャッキ能力を備えており、10～12MW クラスの風車を複数基搭載して運搬することが可能で、効率的な施工が可能</li><li>・ダイナミックポジショニングシステム（DPS）により船体の位置保持が可能で、ジャッキアップ時の位置決め時間を短縮</li></ul>



SEP 型多目的起重機船のイメージ図

※本リリースの内容は発表日現在のものであり、今後、変更となる可能性があります。

以 上